



SK-Electronics CO., LTD.

第20期

株主通信

2020年10月1日

▼
2021年9月30日



Photomask
RFID
Healthcare

株式会社 エスケーエレクトロニクス

証券コード：6677

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また平素より当社に対しまして格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループの第20期(2020年10月1日から2021年9月30日まで)の業績をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

■ 第20期(2021年9月期)の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に発出された中、新型コロナウイルスワクチン接種率の向上などにより感染者数が減少し、経済活動に持ち直しの動きがみられましたが、感染力の強い変異株の影響などにより、国内外経済の先行きは不透明な状況が続いております。

フラットパネルディスプレイ業界におきましては、有機ELパネル開発が、5G通信対応などのスマートフォン向けに活用となったことに加えて、ノートパソコンやタブレット向けにも広がり、有機ELパネル用フォトマスクの需要が増加しました。液晶パネルにつきましては、巣ごもり需要が一巡し、テレビ向けを中心にパネル需要が弱含んだものの、パネルメーカー各社は量産を継続しました。その結果、2020年6月から上昇し続けた液晶パネル価格が第4四半期から下落に転じましたが、長期間量産を続けていたため、パネルメーカー各社の業績は好調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、スマートフォンやノートパソコン、タブレット向けの有機ELパネル用フォトマスクの需要を積極的に取り込みました。

その結果、当連結会計年度における当社グループの業績につきましては、売上高204億40百万円(前期比7.0%増)、営業利益16億64百万円(前期は営業損失6億59百万



円)、経常利益13億71百万円(前期は経常損失7億8百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益10億72百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失9億71百万円)と増収増益となりました。

■ 第21期(2022年9月期)の業績予想について

フラットパネルディスプレイ業界におきましては、高精細化やフォルダブルなどの高機能化のニーズに応えるため、スマートフォン向け有機ELパネルの開発が進み、有機ELパネルの用途が、ノートパソコンやタブレット、モニター、車載パネルなどにも拡大する動きがみられます。加えて、QD-OLEDパネルの量産が開始され、今後は画面サイズの拡充などの開発が行われます。さらに、韓国や中国を中心に、パネル工場への設備投資が計画されております。当社グループは、これらのパネル開発に係るフォトマスク需要を獲得してまいります。

翌連結会計年度の連結業績予想につきましては、売上高220億円(前期比7.6%増)、営業利益16億円(前期比3.9%減)、経常利益16億円(前期比16.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益11億円(前期比2.6%増)を見込んでおります。

連結財務諸表の概要

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第19期 (2020年9月30日)	第20期 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産	17,743	17,871
固定資産	14,035	15,013
有形固定資産	13,053	13,965
無形固定資産	266	145
投資その他の資産	715	902
資産合計	31,778	32,884
負債の部		
流動負債	5,919	5,963
固定負債	3,473	2,541
負債合計	9,393	8,505
純資産の部		
株主資本	21,861	22,827
資本金	4,109	4,109
資本剰余金	4,167	4,167
利益剰余金	14,559	15,526
自己株式	△ 976	△ 976
その他の包括利益累計額	524	1,552
その他有価証券評価差額金	150	268
為替換算調整勘定	379	1,283
繰延ヘッジ損益	△ 5	—
純資産合計	22,385	24,379
負債及び純資産合計	31,778	32,884

Point 1

資産合計は、前期末に比べて11億円増加し328億円となりました。これは主に、設備投資や長期借入金の返済により現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金が増加したことによりです。

Point 2

負債合計は、前期末に比べて8億円減少し85億円となりました。これは主に、長期借入金を返済したことによりです。

Point 3

純資産合計は、前期末に比べて19億円増加し243億円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによりです。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第19期 (2019年10月1日 2020年9月30日)	第20期 (2020年10月1日 2021年9月30日)
売上高	4 19,104	20,440
売上原価	17,547	16,569
売上総利益	1,557	3,870
販売費及び一般管理費	2,216	2,205
営業利益又は営業損失(△)	5 △ 659	1,664
営業外収益	53	69
営業外費用	102	362
経常利益又は経常損失(△)	△ 708	1,371
特別利益	—	—
特別損失	60	1
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△ 768	1,369
法人税、住民税及び事業税	168	346
法人税等調整額	55	△ 46
法人税等還付税額	△ 21	△ 2
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 971	1,072
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 971	1,072

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第19期 (2019年10月1日 2020年9月30日)	第20期 (2020年10月1日 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6 1,991	3,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	7 △ 3,393	△ 4,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	8 3,312	△ 1,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	118	370
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,030	△ 1,487
現金及び現金同等物の期首残高	8,300	10,331
現金及び現金同等物の期末残高	10,331	8,843

Point 4

売上高は、前期に比べて13億円増加し204億円となりました。これは主に、有機ELパネル用フォトマスクの需要を積極的に取り込んだことによりです。

Point 5

営業利益は、前期に比べて23億円増加し16億円となりました。これは主に、売上が増加したことに加え、減価償却費が減少したことによりです。

Point 6

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益と非資金損益項目である減価償却費の影響が大きく、36億円のプラスとなりました。

Point 7

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出により、42億円のマイナスとなりました。

Point 8

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済による支出により、12億円のマイナスとなりました。

会社・株式の概況 (2021年9月30日現在)

会社概要

社名	株式会社エスケーエレクトロニクス SK-Electronics CO.,LTD.
設立	2001年10月1日
資本金	4,109,722千円
本社	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り 一条上ル豎富田町436番地の2 TEL : (075) 441-2333 (代) FAX : (075) 441-4291
従業員数	368名(連結)
事業内容	大型フォトマスク事業

事業所

京都工場	(京都府久世郡)
滋賀工場	(滋賀県甲賀市)

子会社

- 頂正科技股份有限公司 (FINEX Co., LTD.) (台湾)
……大型フォトマスクの製造・販売
- SKE KOREA CO., LTD. (韓国)
……大型フォトマスクの販売
- 愛史料電子貿易(上海)有限公司 (SK-Electronics Shanghai CO.,LTD.) (中国)
……大型フォトマスクの販売、その他電子製品の販売

取締役 (2021年12月17日現在)

代表取締役社長	石田 昌徳	取締役	前野 隆一
取締役相談役	石田 敬輔	(常勤監査等委員)	
取締役	上野 篤雄	社外取締役	堀 修史
		(監査等委員)	
取締役	向田 泰久	社外取締役	榮川 和広
		(監査等委員)	
取締役	阿部 和香	社外取締役	中野 雄介
		(監査等委員)	
取締役	奥田 正男		

株式の状況

発行可能株式総数	32,760,000株
発行済株式の総数	11,368,400株
株主数	5,051名

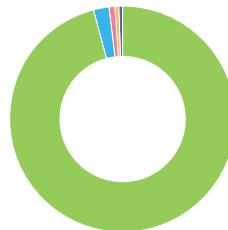
大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社写真化学	883,200	8.34
株式会社ニコン	568,400	5.37
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	499,200	4.71
株式会社京都銀行	356,200	3.36
株式会社SCREENホールディングス	315,000	2.97
石田昌徳	309,800	2.92
石田敬輔	300,200	2.83
株式会社石田産業	277,400	2.62
株式会社三菱UFJ銀行	251,200	2.37
日本生命保険相互会社	226,100	2.13

※当社は、自己株式783,882株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
※持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

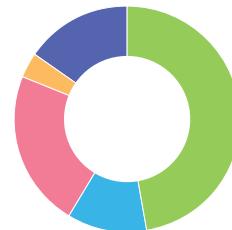
所有者別株式分布

〈株主数別〉



金融機関	14名	0.28%
証券会社	33名	0.65%
その他国内法人	48名	0.95%
外国法人等	108名	2.14%
個人その他	4,848名	95.98%

〈所有株式数別〉



金融機関	1,733,620株	15.25%
証券会社	404,646株	3.56%
その他国内法人	2,543,400株	22.37%
外国法人等	1,293,626株	11.38%
個人その他	5,393,108株	47.44%

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
配当金受領株主確定日	毎年9月30日 (なお、中間配当を実施するときは毎年3月31日といたします。)
基準日	定時株主総会については毎年9月30日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (公告掲載URL http://www.sk-el.co.jp/top.html)
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (受付時間 土・日・祝祭日を除く9時～17時)
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所(所属JASDAQ)

【株式に関するお手続きのご照会およびお届出について】

株式に関するお手続き(届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求など)のご照会およびお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、以下のいずれかの窓口にご連絡ください。

○証券会社で口座を開設されている株主様

当該証券会社にご連絡ください。

○証券会社で口座を開設されていない株主様

三井住友信託銀行にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三井住友信託銀行に開設された口座(特別口座)に記録されております。

特別口座の詳細につきましては、上記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。